



シルバー せんなん

第47号

平成26年7月発行

公益社団法人

泉南市シルバー人材センター

泉南市信達市場1584番地の4

電話 (072) 483-8661

平成二十六年 度 第四回定時総会開催!



公益社団法人泉南市シルバー人材センター第四回定時総会を去る平成二十六年五月三十一日(土)に泉南市総合福祉センター「あいびあ泉南」において開催致しました。

当日は会員四百八十名のうち、会場出席者百一名、委任出席者二百四十七名、合計三百四十八名と広い会場にたくさんの方々が結集しました。山本稔理事長より、長引く不況に

もかわならず、当センターにおいて、対予算の実績は、一〇〇%となり、目標額の実績結果を収めることができたこと等、関係機関、発注者の皆さんへのお礼と今後の抱負をかねてあいさつをいたしました。

来賓の竹中勇人市長、中尾広城市議会議長、堀口和弘府議会議員よりご祝辞を頂き、来賓の紹介、祝電披露をもって式典を終了いたしました。

紹介

泉南市議会議員 和氣信子氏

泉南市健康福祉部長兼

福祉事務所長 藪内良造氏

健康福祉部次長兼

長寿社会推進課長 高尾年弥氏

祝電披露

大阪労働局職業安定部長

片岡伝七氏

大阪府商工労働部労働政策監

向井正博氏

(公社)大阪府シルバー人材センタ

ー協議会々長 後藤旬寸氏

続いて議長に金田峯一副理事長を
選任し議事に入り、付議された議案

に対して、全会員一致で承認及び可決されました。

全案件は、以下のとおりです。

第一号議案 平成二十五年度事業報告について

第二号議案 平成二十五年度収支決算報告について

第三号議案 監査報告について

第一号報告 平成二十六年事業計画について

第二号報告 平成二十六年収支予算書について

第三号報告 役員選任について

第一号報告 平成二十六年事業計画について

第二号報告 平成二十六年収支予算書について

第三号報告 役員選任について



見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験

会員数 (平成26年6月末日現在) 男357名 女124名 合計481名

地域委員紹介

| 班名 | 氏名 |
|------|-------|
| 新家班 | 田子敬一 |
| | 脇ノ谷英利 |
| 新家東班 | 八木義文 |
| | 菅剛 |
| 信達班 | 花房功 |
| | 崎山忠男 |
| | 森大祐 |
| | 清水智恵子 |
| 一丘班 | 岡山功 |
| | 佐伯定男 |
| 砂川班 | 鏡園政俊 |
| | 北垣巖文 |
| | 西里和也 |
| 東班 | 原利秋 |
| 雄信班 | 小田巻五馬 |
| | 高岡正明 |
| | 和田正臣 |
| 樽井班 | 西田平 |
| | 川村慶二 |
| | 向井正美 |
| | 相田秀次 |
| 鳴滝班 | 松元辰巳 |
| | 森浩輔 |
| | 川崎廣美 |
| 西信達班 | 菅厚生 |
| | 後藤市郎 |
| | 山本恵子 |

役員紹介

| 役職名 | 氏名 |
|------|--------|
| 理事長 | 山本 稔 |
| 副理事長 | 金田 峯一 |
| 常任理事 | 徳野 篤哉 |
| 理事 | 奥田 鐵夫 |
| 理事 | 中野 善史 |
| 理事 | 清水 智恵子 |
| 理事 | 水口 哲夫 |
| 理事 | 北垣 巖文 |
| 理事 | 高岡 正明 |
| 理事 | 小田巻 五馬 |
| 理事 | 丸山 邦明 |
| 理事 | 川崎 廣美 |
| 理事 | 森 浩輔 |
| 理事 | 山瀬 伊佐男 |
| 理事 | 西出 誠司 |
| 監事 | 山内 洋 |
| 監事 | 西川 勝文 |
| 監事 | 西田 満 |

新事務局長ごあいさつ



新事務局長

徳野篤哉

この度、三月三十一日付けで退任された丸山前事務局長の後任として事務局長に就任いたしました。

私は、昭和六十二年シルバー人材センターに採用され多くの方々に支えられながら二十八年間勤めて参りましたが、当初の会員数は約百八十名でしたが現在約五百名に成長しました。

今後、シルバー人材センターの更なる発展を目指して参りますので皆様のご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

会員のひろば

駐輪場で働いて

一丘班 児玉正幸

シルバーで働くようになって、八年が過ぎました。仕事現場は、砂川第二自転車置場と砂川第三自転車置場です。月・水・金と週三回朝七時から九時迄です。

僕は、自転車を置きに来る人に「おはようございます。」と元気よくあいさつすることを、心掛けてきました。最初の頃は、返事が返ってこなかったのですが、こちらが変わりなくあいさつを続けていくうちに「おっちゃん、おはよう」と学生の子供さんが声をかけてくれるようになり、色々な方との出会いもあり、今では仕事が楽しいです。

また、自転車や単車の鍵を閉め忘れていく人が何人かおり、今ではそんな人にはエフ（連絡札）をつけて、本人がわかるようにしてあげ、また、電車の定期券の落とし物を警察に届けたり、後からお礼の電話をもらったことなど、本当に嬉しかったです。中には、野菜やみかんなど持ってきて下さり、沢山の知り合いもできました。十五年前、急性心筋梗塞で倒れ、一命は取り留めましたが、現在まで元気に働けることに感謝しています。

謝しています。これからもシルバーの一員として、朝のさわやかなあいさつで一日一日を大事にして、仕事を頑張っていけます。



事務所の華

鳴滝班A 藤内政義

シルバー人材センターで働き始めて七年になり先月七十六歳を迎えましたがまだまだ元気な藤内です。現在仕事はシルバーの事務所の手伝いから除草作業、植木伐採等色々な仕事をしています。以前は花専門のボランティアをしていて鶴見緑地、長居公園までの道のりを種から花を育て上げ、



また大阪城で全国都市緑地祭式典が催され緑と花の祭りで秋篠宮殿下から最優秀賞を受賞したことは忘れられぬ思い出です。そこでいつもお世話になっている事務所にかたができればと思いいままでの経験を生かして事務所周りに花を植えて育てています。

花を育てるにあたって一番大切なことは土です。腐葉土・油粕・肥料などを混ぜて土を作り、鉢に入れるときは最初にごろ石を敷いて土を入れます。重要なのが、水かけた時にすうくと流れるくらいがベストです。しかし水のやり過ぎも花を枯らす原因になるので注意が必要です。

今回七月は事務所の入り口横にあさがおを育てています。綺麗に咲き誇るよう毎日お花に「綺麗に咲いてや」と声を掛けています。毎月のテーマはありませんが、私の好きな花を育てており九月以降の育てる花は未定です。事務所に立ち寄った際はチラッと何が咲いているのか見ていただけたらと思います。



植木剪定講習会にご参加の皆さん

植木剪定講習会が 開催されました

一月二十四日(金)に、りんくう南浜2号緑地(通称 亀公園)にて泉南市シルバー人材センター主催の植木剪定講習会が行われました。

参加者二十名のうちシルバー会員は十名で、講師役としてシルバー人材センターの植木剪定会員(七名)にご協力いただきました。公園内のツツジの植え込み、街路樹の松などを中心に行われました。

当日は晴天で気温も真冬とは思えないほど高く、朝の開始の時点ではみなさんコート姿で集合されたものの、午後からは半そでになって汗をかきながら熱中されていた方もおられました。また今回の講習場所は付近の住民の方の散歩コースになっており、立ち止まって耳を傾けていく人や、半ば飛び入りのかたちで参加された人もあり、終始にぎやかな雰囲気でした。

シルバー会員になって

雄信班 吉川朝一

私がシルバーの剪定班に入ったきっかけは、シルバー人材センター主催の植木剪定の講習会に参加したことです。以前から自宅の植木は、自己流で適当にやっていたましたが、この機会に少しでも上達できればと

思い参加しました。

二年前までは、フィットネスクラブに金を払って運動をしに通っていましたが、今は逆にお金を頂いて運動をしている様な気持ちで働いています。

フィットネス通いを止めて二年くらいは何も運動をしていなかったため、最初のうちはきつかったですが、最近は少しずつですが慣れてきました。大量の汗をかき、仕事を終えて家に帰って風呂上がりにはビールは格別です。

諸先輩方に剪定の色々なことを習い、かつ体力作りが出来れば一石二鳥でありがたいことです。これから、暑くジメジメした夏が来るので、健康に留意しながら長く働いていけたら良いなあと思っています。



春の交通安全運動に参加

雄信班 高岡 正明

四月十二日（土）、泉南自動車教習所において泉南警察署主催の「高齢者自動車・自転車実践交通安全教室」講習会が開催されました。徳野事務局長をはじめシルバー人材センター会員二十八名が参加して座学と実習を受けました。座学は泉南警察署清水係長から本年の大阪府内における交通安全状況報告がありました。中でも六十五歳以上の高齢者にかかわる死亡事故が増加しており、大阪府警は事故防止のための活動を推進しています。高齢者は加齢による身体運動能力や状況判断能力が低下しているため、車の運転、自転車の乗り方、道路の横断時の確認などに注意が必要との報告がありました。

実習は教習所コースで教習車を各自運転して、路上における情報収集や状況判断を行い、安全な運転の再確認を体験しました。特に路上駐車車両の側方通過の時は歩行者、自転車などの飛び出しがあり緊張することがありました。運転中は左側後方の視野死角が思った以上にあり、左側への進路変更時などの巻き込み事故や接触事故の防止についても再認識しました。

この講習会は二時間ですが、毎年趣向をこらした内容で、高齢者運転の交通安全啓発に寄与し、参加者全員が熱心に受講しました。



公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会の新しい全国統一スローガンが決定しました！

見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験

平成26年度から平成28年度までの全国統一スローガンとして、安全意识の啓発に活用し、事故撲滅を目指し全員で取り組みましょう。



熱中症に気をつけましょう！

熱中症の予防のポイント

- ① 日頃から睡眠を十分にとり、栄養バランスの良い食事に気を付け、また、体力づくりを行い体調に気を配りましょう。朝食抜きは厳禁です。
睡眠不足・二日酔い等の場合は就業を控えることも必要です。
- ② 室内の就業場所の風通しに配慮し、部屋の温度をこまめにチェックしましょう。
また、エアコンや扇風機を使う場合は、室温28度を超えないようにしましょう。
- ③ 就業中は、無理をせず、適度に休憩をとりましょう。
- ④ 気温が高いときは、屋外作業を行わず、また直射日光のあたる屋外では、つばの広い帽子を着用しましょう。
- ⑤ 屋外での単独作業の場合は、定時的に事務局又は地域班、職群班と連絡を取り合いましょう。
- ⑥ 作業前・作業中・休憩時などに水分をこまめにとりましょう。大量に汗をかく場合は、塩分もとるようにしましょう。
- ⑦ のどが渇く前に水分補給しましょう。また、のどが渇かなくてもこまめに水分補給しましょう。
- ⑧ 外出の際は、体をしめつけない涼しい服装で出かけましょう。

熱中症の症状が出た場合の対処方法

就業中等において頭痛、吐き気、嘔吐、めまい、立ちくらみ等の症状があれば、ただちに仕事を中止して十分に休養をとって下さい。

具体的には、すぐに涼しい場所に避難させ、衣類をゆるめて安静な状態にします。その後、体を冷やし（特に、首の周り、脇の下、足の付け根など）、水分・塩分、経口補水液などを与えます。

また、水分を自力で摂取できない、呼びかけに応じない、意識がない場合は、直ちに救急隊を要請し、医療機関に搬送します。

なお、高齢者の身体の特徴をして、

- ① のどの渇きを感じにくい。
- ② 暑さを感じにくい。
- ③ 汗をかきにくい。

などがあり、体温を下げるための体の反応が弱くなっており、自覚がないのに熱中症になる危険があります。

こんな時はためらわずに救急車を呼びましょう！

- ① 自分で水が飲めなかったり、脱力感や倦怠感が強く、動けない場合は、ためらわずに救急車を呼んでください。
- ② 意識がない（おかしい）、全身のけいれんがあるなどの症状を発見された方は、ためらわずに救急車を呼んでください。

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会安全就業ニュース2014年6月号より抜粋

これから本格的な暑さを迎えます。その前に、熱中症予防対策を始めることが肝要です。熱中症のことを知って、しっかり予防し、特に屋外作業時は十分に注意し、会員同士気を配り合い、安全に就業しましょう！

ノロウイルス食中毒にご注意！！

近年、ノロウイルスが原因の食中毒が年間を通じて発生しています。ノロウイルスは手指や食品などを介して経口で感染し、おう吐、下痢、発熱などをおこします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。

ノロウイルスの特徴

- 人の腸管内でのみ増殖する（食品中では増殖しない）
- おう吐・下痢・発熱など、風邪に似た症状
- 潜伏時間は24～48時間
- 少ないウイルス量でも感染・発症する（感染力が強い）
- 加熱や塩素漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）で失活※
（消毒用アルコールや逆性石けんではあまり効果がありません）
※失活とは、ウイルスの本来の機能（活性）を失くすことです。



予防のポイント！！

- 手指の洗浄をしっかりと行う
手指を介して食品を汚染しないために、手は石けんを使って流水で洗い流すことが重要です。ノロウイルスを洗い流すため、二度洗いを心がけましょう！！
感染していても症状を示さない人もいますので、症状がなくても調理前、トイレ後、食事前などにはしっかりと手洗いを行ってください。
- 二枚貝（カキやアサリ等）の生食は避け、中心部まで十分過熱する（85℃、1分以上）
食品を取り扱う人（特に調理従事者）は二枚貝の生食は自粛しましょう。
- 下痢等の症状がある場合は、食品の取り扱いに従事せず、できるだけ早く医療機関を受診する
症状がきえてからも、ふん便中にウイルスが含まれている場合がありますので、食品を取り扱う人は特に注意しましょう。
- トイレ等の衛生管理をしっかりと行う
トイレの清掃やおう吐物の処理を行う場合は、使い捨ての手袋やマスクを装着し、塩素漂白剤により適切に消毒しましょう。



大阪府健康医療部 食の安全推進課 平成23年2月作成のパンフレットより抜粋



新職員
ふとう まさや
布藤 万査哉

新職員紹介

はじめまして。この四月から事務局で事務担当をさせていただいております布藤（ふとう）と申します。現在は主に徳野局長に同行するかたちで勉強しております。私はまだ右も左もわからない若輩者でご迷惑をお掛けすることもあります。長い目を見ていただけたらと思います。前職は報道カメラマンのアシスタントをしていて、色々な方々と接しましたが、今はシルバーと思えない活発なパワーに驚いています。これからも会員の皆様の元気で活力あるパワーをいただきシルバーを盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

◇お気軽にお電話を◇

| | |
|-----------|--|
| 軽作業 | 清掃・除草・ビラ配り 各種屋内、屋外作業・その他軽作業 |
| 施設管理 | 公園、テニスコート、駐車場・駐輪場・カート回収等の管理 |
| 事務 | 一般事務・宛名書き・毛筆賞状書き |
| 園芸 | 庭木の剪定・施肥・庭の清掃 |
| 修理・修繕 | トタン、波板の張り替え・ペンキ塗り・その他小修理 |
| 家事・福祉サービス | 家事手伝い・食事の仕度・その他家事サービス 老人介護補助・病人看護補助 |

★臨時的・短期的な仕事は〈シルバー人材センター〉にご相談下さい。

TEL (072) 483-8661

お知らせ

配分金支払日

| | | | | | |
|---------|----------|----------|----------|---------|---------|
| 11月分 | 10月分 | 9月分 | 8月分 | 7月分 | 6月分 |
| 1月5日(月) | 12月1日(月) | 11月4日(火) | 10月1日(水) | 9月1日(月) | 8月1日(金) |

会員の原稿募集

シルバー人材センターでは、年に二回の予定で会報を発行しています。次のような内容の原稿を〔原稿用紙(四〇〇字詰)一〜二枚程度で〕お寄せください。

- ① 会員として、働く喜び、生きがい等の自己体験等
- ② 随筆、短歌、俳句、川柳等
- ③ 趣味の写真等

原稿の締め切り日 平成二十六年十月末日
又、「シルバーせんなん」に望む声を事務所までお寄せ下さいますようお願いいたします。

編集後記

今年雨は少なくひょうが降るなど不安定な梅雨が続いていますが、七月の末期には気象庁から大雨の予報がでています。天候の変化に対応できる準備が必要かと思えます。

さて本号では会員の皆様からお仕事や趣味をとおして、苦勞を重ねながらも色々な人との暖かいふれあいや、感謝されることへのやりがいをお寄せいただきました。第一回編集会議のとき、会議室の前庭に六株の朝顔が植えられており思わず足を止めました。朝顔の成長や、開花が、センターに出入りする人にやすらぎを与えてくれると思います。また八月にピークを迎える食中毒を防ぐため細菌・ウイルスを「つけない ふやさない やっつける」で迎える真夏日を乗り切ってください。

編集部(山本)